

令和4年度 学校評価について

学校評価や授業評価のアンケート結果などを参考に、令和4年度の教育活動について振り返りをしました。学校評議員からも御意見をいただき、今後の教育活動の重点と改善策についてまとめましたので御報告いたします。

1 本年度の重点目標

- 1【確かな学力の保障と発展】
基礎基本及び商業に関する専門知識の習得、ICT有効活用による「わかる授業」と知識の用途の明示(Google Workspace for Education)
、主体的・対話的で深い学びに結びつく学習指導
- 2【言語活動の充実】コミュニケーション能力の育成、主体的に発言する態度と意志を伝える能力の養成
- 3【自主性のある生徒の育成】リーダーシップの育成、積極的に参加する意欲の育成
- 4【部活動の充実】生徒に寄り添う姿勢と信頼関係
- 5【進路指導の発展を見据えた指導】ICTを活用した基礎基本の習得、早い段階での進路目標の設定
- 6【防災教育と健康・安全指導の充実】安心安全の環境づくり、緊急時の対応と外部機関との連携
- 7【心のケアの充実】教育相談とスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用、必要な情報の共有とプライバシーの保護、
孤立させない環境作り
- 8【開かれた学校づくり】ボランティア活動の充実、対外的な行事の参加、地域への広報活動、外部講師の活用

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	1 基礎基本的な学力の保障	B	評価を活かした授業改善と学習姿勢向上の指導を充実させる。	A	A
	2 商業などの専門知識の習得	A	資格取得を推奨し、目的意識を持って授業と補講に臨ませる。	A	A
	3 ICTを有効活用した学習指導	A	教員のICT活用力を高める。オンライン指導の有効活用の推進。	A	A
	4 言語活動の充実	B	将来の目標に関する探究型学習を展開し、発表に取り組ませる。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		各課題に柔軟に取り組んだ成果が出ている。補講授業の実施も含めて、個に応じた学習活動を実践している。進路につながる資格取得の推奨、言語伝達能力の獲得を望む。			
生徒指導	1 自主性のある生徒の育成	A	生徒会活動の意義を意識させ、行事に主体的に取り組ませる。	A	A
	2 部活動の充実	B	教員も積極的に指導を行い、よい人間関係作りの場を目指す。	A	A
	3 心のケアの充実	A	教育相談等による発見課題に対して適切な支援態勢を整える。	A	A
	4 携帯端末・SNS等利用に関する指導	A	望ましい利用やSNSでの加害・被害についての指導を継続する。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		柔道部をはじめ部活動では素晴らしい結果を出している。また、不安定な精神状態の生徒にも十分に配慮した指導がなされている。語らいの場など良き友達作りを望む。			
進路指導	1 キャリア教育の推進	A	進路行事の目的をより明確化し、企画と準備を入念に行う。	A	A
	2 進路目標の早期設定	B	希望する業界に関する探究型学習とインターンシップを行う。	B	A
	3 就業率の向上	B	ハローワーク等と連携して個に応じた情報提供と指導をする。	A	A
	4 進路達成率の向上	A	企業研究、履歴書、面接等の対策指導を早期から継続して行う。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		個に応じた進路指導がなされている。生活リズム確立の推奨や進路決定率も良い。インターンシップでの体験やハローワークとの連携は重要である。引き続き就業支援を願う。			
育・安全指導とその他	1 防災教育と健康・安全指導	A	実践的な避難訓練と科学的知見に基づく対策・指導を継続する。	A	A
	2 施設・設備の管理と充実	B	安全点検を充実させ、果に予算要求しながら環境整備に努める。	A	A
	3 開かれた学校づくり	B	ボランティア活動を継続する。学校通信やHPを有効活用する。	A	A
	4 スクールポリシーに基づく教育活動	A	人間関係作り・学習意欲向上に向けて多面的な取り組みを行う。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		学校安全に対する取組が活かされている。夜間登下校の安全指導も大切にして欲しい。ボランティア活動は良い取組である。生徒一人一人の成長を大切にして指導している。			

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 基礎学力を保障する学習指導と学習支援の個別最適化	評価を活かした授業改善により教員の学習指導力と生徒の学習姿勢の向上を図る。また、生徒の個々の状況に配慮した学習支援策を講じつつ、ICTやオンライン指導の有効活用も推進し、基礎学力定着に向けた個別最適化した指導を図る。
② 生徒の自主性の育成と自律した生活への改善指導	行事や生徒会活動、部活動などに、その意義を考えさせ自主性を促しつつ、教職員も生徒とよく関わり協働して取り組む。また、健康で安心な生活作りを目的とした講話による指導や教育相談から導かれた課題に対する支援態勢を充実させる。
③ 進路目標の設定と達成のための探究的活動や各種指導の充実	将来設計に繋がる探究型進路学習やインターンシップを行うことで職業観を深めさせ、進路目標の設定に指導・支援する。ハローワーク等の外部機関と連携をし、個々の状況に応じた就労支援を行うとともに、各種の受験対策指導を充実させる。